

大阪大学歯学部附属病院を受診された患者さんへ

口腔内画像データを用いた根面う蝕診断補助ツールの開発に関する研究

1. 研究の対象

2030年8月以前に大阪大学歯学部附属病院 予防歯科を受診された方

2. 研究目的・方法

加齢や歯周病などが原因で歯肉が下がると、歯肉の中に隠れていた歯の根元（歯根）が露出します。根面う蝕とは、歯根にできるむし歯のことで、歯根部はエナメル質のような硬い組織に守られていないため、むし歯になりやすく、進行も早い傾向があります。また治療の難易度も高く、特に進行した病変では、治療中に歯が崩壊してしまうリスクが高くなります。そのため、根面う蝕は初期段階で発見し、進行する前に適切な対応を行うことが重要です。しかしながら、その診断には術者の経験や主観的な判断が大きく影響するため、診断の客観性や再現性に乏しいという課題があります。さらに、初期段階の病変は正確に発見することが難しい場合があります。そこで本研究では、口腔内画像をコンピューターに学習させることで、画像から口腔内の状態を把握し、根面う蝕の診断を補助するシステムを構築し、根面う蝕の早期発見を支援することを目的としています。

3. 研究期間

研究機関の長の許可日～西暦 2030 年 8 月 31 日

4. 研究に用いる資料・情報の種類

初診時の問診情報（年齢、性別、服薬状況、既往歴等）、歯周組織検査結果、プラクスコア、口腔内画像

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので、お申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了解いただけない場合には、研究対象といたしませんので、下記の連絡先お申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

研究責任者：

大阪大学歯学部附属病院 予防歯科 久保庭雅恵

大阪府吹田市山田丘 1-8 06-6879-2350